

平成5年
2月10日

第73号

発行 守 谷 町 議 会
編集 守 谷 町 議 会 事 務 局
TEL (0297)45-1111 (内532)
茨城県北相馬郡守谷町
大字大柏950-1

もりやまち

議会だより

もくじ

- ①ページ 議決内容
- ②ページ 一般質問
- ③ページ 決算のあらまし
- ④ページ



豆 ま き

第4回定例会

完全土曜閉庁決まる

助役に伯耆田康男氏再任

平成四年度第四回定例会が、去る二月一五日から二五日まで、一日間の会期で開かれました。
今回の定例会には、平成三年度決算をはじめとする町長提出議案二一件と議員提出議案一件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

議 決 内 容

- 三年度各会計決算の認定
関係記事は四ページに掲載してあります。
- 専決処分事項の承認
- 四年度一般会計補正予算
前町長大和田仁氏逝去に伴う町葬費及び町長選挙費に要する経費を専決処分したものの。
補正予算額＝二二〇万円
- 報告
- 三年度継続費精算報告
一年度、三年度の継続事業で行われた都市計画図修正業務の精算内容が報告された。事業費の合計は二二万五〇〇〇円。
- 人権擁護委員候補者の推薦
○ 椎名林之助氏（野木崎一七四・六〇歳 新）
- 助役の選任
○ 伯耆田康男氏（大柏五四二・六八歳 再）
- 教育委員会委員の任命
○ 田中 勲氏（守谷甲六三一・五一歳 再）
- 条例改正
○ 守谷町の休日定める条例
平成五年二月から完全土曜閉庁を実施するもの。
- 守谷町職員定数条例
町長部局吏員二五〇人を二七〇人に、教育委員会事務職員二〇人を二五五人に、教育機関の職員「三一人」を「二七人」に改めるもの。
- 守谷町職員の勤務時間に関する条例
完全土曜閉庁実施に伴うもの。
- 守谷町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例
町長、助役、収入役の給料並びに、町議会議員、その他の非常勤職員の報酬額について改定するもの。
- 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例
教育長の給料を改定するもの。
- 守谷町職員の給与に関する条例
人事院勧告に基づき所要の改正をするもの。
- 守谷町消防団条例
守谷町消防団員の報酬等を改定するもの。
- 補正予算
○ 一般会計補正予算
高額療養費受給者の増加に伴う医療福祉費、都市計画道路決定図書作成委託料及び道路交通量推計調査委託料、駅周辺地区整備事業による公共用地買収代及び土地取得に伴う補償費、小学校遊具修繕料、けやき台中学校、愛宕中学校校舎等買収費、図書館建設用地買収代など。その他、給与改定に伴う人件費の補正が主なもの。
補正予算額＝五億七千七百四十万円
- 補正後の予算額＝二億四千万円
- 下水道事業会計補正予算
給与改定に伴う人件費一万四〇〇〇円の増額補正で、予備費を充当。
- 国民健康保険会計補正予算
高額療養費及び給与改定に伴う人件費の増額が主なもの。
補正予算額＝二億四千万九〇〇円
- 補正後の予算額＝一億四千二百六十七万七〇〇円
- 老人保健会計補正予算
給与改定による人件費の増額補正で、三億五千万六〇〇円を予備費から充当。
- 水道事業会計補正予算
建設改良費及び給与改定に伴う人件費の補正が主なもの。四億二千八万六〇〇〇円の増額。
- 工業団地土地区画整理事業会計補正予算
受取利息による収入一六六万二〇〇〇円の増額と、人事異動及び給与改定に伴う人件費一三万四〇〇〇円の増額。
- 工業用地の取得及び処分事業会計補正予算
給与改定等に伴う人件費二万九千九〇〇〇円の増額。
- 字の区域及び名称の変更
工業団地土地区画整理事業に伴う
- 臨時会
昨年一〇月二六日に開かれた第四回臨時会及び同月三十一日に開かれた第五回臨時会の議決内容をお知らせします。
- 守谷町名誉町民の推挙
○ 前町長 故大和田 仁氏
故人の永年にわたる功績と名誉を称し、名誉町民の称号を贈り顕彰するもの。
- 議員提出議案
○ 佐川急便疑惑の徹底究明及び政治倫理の確立に関する意見書
○ 佐川急便疑惑の徹底究明及び関係議員の議員辞職並びに政治倫理の確立に関する決議
- 副議長の選挙
○ 大久保 進氏
皆川哲男氏から副議長辞職願いが一〇月二七日に提出されたことに伴い選挙されたもの。
- 議員提出議案
○ 国民の祝日「海の日」制定を求める意見書
- 請願・陳情
皆さんから出された請願・陳情の審査結果をお知らせします。
- 採択されたもの（二件）
◇ 北守谷地区での学童保育の実現を求める陳情
◇ 国民の祝日「海の日」実現についての要請
- 継続審査中のもの（一件）
◇ 思川開発事業（南摩ダム建設計画）に伴う大谷川取水反対に対する理解と協力を求める陳情
- 業区域内の字の名称を、緑一丁目及び緑二丁目に変更するもの。（本換地により施行）



一般質問 (要旨)

本定例会における一般質問は、二二日、二四日の二日間にわたって行われました。
質問には七名が登壇し、会田新町長の今後のまちづくりに対して活発な質問が行われました。

教育文化の振興を図れ

西巻 健治議員

西巻議員 町長は所信表明で「心豊かな人間性を育む教育文化の振興をめざす」としているが、教育の根底にある家庭教育に対する考えを伺いたい。

町長 暖かい家庭を培うことが家庭教育の第一歩であると考えている。

西巻議員 小中学校の先生方の中には、学校教育の実践の場で、すばらしい体験をお持ちの方もいると思うので、その体験をさらに活かすために、先生方の体験談の交流の場を設けていただきたい。

町長 そのような方向で努力していきたい。

西巻議員 以前の校舎はすべて木造建てで木のぬくもりが感じられた。小中学校の段階で、日本の文化の根幹をなす木と紙の文化を会得させるためにも、モデルケースとして木造校舎を考えてみたかどうか。

町長 限られた敷地の中で必要な教室を確保するためには三、四階の建物になってしまったため構造上木造では無理がある。内部仕上げにおいて木を使用することも考えられるが、建設費が高いという問題がある。

西巻議員 水戸市では洋上学校を実施しており(中学二年生対象)、大自然との関わりの中で、連帯と団結

という好ましい効果が得られたとのことである。当町でも洋上学校の実施を検討していただきたい。

町長 中学二年生全員の参加となると、相当数の指導者が必要となり、残された一、三年生の授業に影響することもある。検討中である。

西巻議員 現在、工業団地内に大きな親水公園が建設中である。この公園を利用し「ホタルの里づくり」を検討していただきたい。

町長 ホタルの餌となるカワニナの生息条件等から見てかなり難しい状況であるが、大変すばらしい考えであり、是非トライしてみたい。

西巻議員 大学、短大、専門学校等は東京に一極集中しており、交通費、下宿代を含め相当な負担となっている。また地元が求める人材は身近な地域の中で育まれていく必要があると思うので、町あるいは広域圏でこれらの誘致を考えていただきたい。

町長 私立大学では、敷地はもともと建物の一部までも自治体負担という条件が普通のようにあり、そうすると非常に難しいが、今後とも国、県に働きかけしていきたい。



工業団地内に建設中の親水公園

西巻議員 生涯学習の意欲が益々高まる中で、教える側を住民の中に求めて、教授が住民、生徒も住民という「ふるさとアカデミー」を考えていただきたい。

町長 これまでも生涯学習の推進を図るために、町民に教えられるものを募集した経緯がある。今後もそのような学習の場をつくってきたい。

西巻議員 町長は所信表明で「町民会館の早期建設に努力する」としているが、今後ホールをつくる場合は、多目的ではなく、例えば音楽の分野に目的を絞り込み、一流の音楽家の演奏を身近で聴けるようなホールの建設がより効果的ではないか。

町長 目的別にすることができれば一番好ましいが、予算や敷地等の問題があり、それらを総合的に考え、さらに皆さんの意見を聞きながら進めていきたい。

西巻議員 余暇時間の増大

や価値観の多様化に伴い生涯学習が非常に重要になっているが、当町では地域のコミュニティを図る集会所施設そのものも不十分である。そこで南守谷地区公民館の建設について現状を伺いたい。

町長 今年度中には敷地を確保すべく全力を挙げて努力している。

福祉について

西巻議員 高齢化社会が急速に進む中、お年寄りの方々の健康をいかに保持していくかが重要であり、お年寄りが自分の健康をわかりやすいシステムでチェックしていく必要がある。そこで過去における病歴の変化が一目でわかるような健康カードシステムの導入を図っていただきたい。

町長 民生経済部統括課長 現在、県において「健康カードシステム検討委員会」が設置され検討中であり、当町に

おいても今後十分検討してみたい。

苦情処理について

西巻議員 住民から町側に

対して日常生活に絡む苦情や陳情が出された時に、町側の対応と住民が抱く感情とに隔たりが感じられる。そこで、その苦情や陳情に

新線ルート発表の時期は

倉持 和夫議員

倉持(和)議員 当町議会では常磐新線に関する地下方式の決議を平成三年六月二十一日に行っているわけだが、地下方式に関する現在の状況を伺いたい。また、新線ルートの発表はいつごろになるのか伺いたい。

常磐新線推進部長 地下方式による建設は難しいと思われるため、高架方式での建設で理解を得られるよう努力したいと考えている。また、ルートについては平成五年六月に発表されると

思われる。

合併問題について

倉持(和)議員 取手市、藤代町との三市町での合併問題について、取手市議会では合併推進を求める請願

住民参加の行政運営を

松本 明子議員

松本議員 町長は、現行の水道料金について住民の理解を得るべく話し合いをしていただきたいとのことだが、その手法を伺いたい。

町長 将来の人口十万人に見合った水を今後確保していくためには施設も必要であり、莫大な資金を要するので、そのことをよく理解し

松本議員 駅周辺地区整備事業については、住民の意向を十分把握し、尊重していく姿勢を貫いていただきたい。

町長 住民との話し合い無くては事業は進まないもので、身近に話し合えるような場を設けていきたい。

不況対策について

松本議員 地元商店街の活性化を図っていくためには、商店自らの意欲的な話し合いが必要であり、また産業経済委員会としても商店の方たちと話し合っていくことを確認した。町長もこれらの話し合いの場に積極的に参加していただきたい。

町長 商工会、さらには商工会青年部という次代を担う方々も合わせて話し合いをしていきたい。

松本議員 現在、全国的に不況であり、倒産件数も史上最高とのことである。今後この不況の波が当町の中

小企業にも影響してくると予想されるが、その救済措置をどのように考えているか。

民生経済部長 県では、緊急経済対策の一環として景気関連中小企業緊急対策融資制度を設けており、この制度を活用していただきたい。

松本議員 融資制度はあっても担保や保証人などの条件により融資を受けられない場合もあるので、町において誰でも借りられるような緊急融資を考えていただきたい。また国に対しては融資枠の拡大を働きかけていただきたい。

町長 町単位の融資は難しいが、国に対する要望はできると思う。

教育文化の振興

松本議員 町長は所信表明

で「教育文化の振興」を挙げていますが、実際にどのようなことをやろうとしているのか。

町長 現在一人である外国人英語指導助手を、今後はできるだけ各中学校に配置できるように努力し、さらに小学生とのふれあいにについても考えていきたい。

松本議員 当町の学校給食は、米飯を業者委託しており、その加工費まで親負担となっている。本来、加工費は町が負担すべきものであり、そうすることにより、来年度に予定されている給食費の値上げもしないで済むのではないかと。

教育長 当町の給食費は近隣市町村と比較しても安い。昭和五八年に改定以来据え置かれており、以後、物価指数も大分上がっている。で、それに見合った値上げをお願いしたい。なお米飯については、委託せずにセンターで作っている市町村もあるようなので調査してみたい。

松本議員 水海道市の学校給食では、地元でとれたコシヒカリを使用しており、当町でも検討していただきたい。

教育長 研究してみたい。

議会答弁の実行性

松本議員 以前、取手協同病院にその敷地を低価格で売却する議案が提出された際に、その議案に賛成する条件として、町で行う予防注射等を各地域で受けられるよう協同病院への協力要請を願ったわけだが、その後の経過を伺いたい。

民生経済部統括課長 当町にはかなりの医療機関が整備されており、町内の先生方でも十分対応できるので、協同病院には依頼していない。

松本議員 町が工事を発注する際には、業者に対して一括下請けの禁止や、部分下請けの届出等を指導しているとのことだが、実際に届出なしに下請けに出されているケースや、下請け業者に絡むトラブル等も発生しているようである。今後は、下請け業者をしっかりと監視していくためにも、下請けの届出を義務化していただきたい。

都市整備部長 実際に届出がない限り判断が難しい面もある。今後は現場で監督に携わる職員と意見を交換しながら取り組んでいきたい。

松本議員 平成三年一二月議会で情報公開条例の制定を要望したところ、「制定する方向で努力する」との答弁を得ているが、その後の経過を伺いたい。

総務部統括課長 総務課内で数回にわたり協議を行っており、来年早々には、公開、非公開の書類の整理に入りたい。

松本議員 六月議会で、当町が同和団体として認める基準について質問したところ、その基準の一つとして「県が認めている団体」との答弁であった。しかし、県が全国連という同和団体を認めたのは一〇月一日で

あり、町ではその前に九月二三日の段階で認めてしまったことである。なぜ議会で答弁したとあり、県が認めるまで待てなかったのか。

住民の声を活かした 振興計画の策定を

中村 信行議員

中村(信)議員 まちづくりの基本的プランとも言える振興計画の策定にあたっては、公聴会やアンケートを通して住民の意見を取り入れながら進めていただきたい。

町長 住民の声を聞くためにアイデアモニター制度を実施しており、発足後五年

循環バスの運行を検討していただきたい。

町長 担当課で検討中である。

中村(信)議員 当町には区長制度や納税組合制度があり、行政の委託的イメージが感じられる。これらのイメージを払拭するためにも、現在各区分長にお願いしている広報等の配布を、新聞折り込みに切り替えていただきたい。

町長 経費の問題もあり、すぐに実施することは難しいが、今後の課題として検討したい。

学童保育について

中村(信)議員 北守谷地区から学童保育の実施を求める陳情が出されているが、そのための施設を整備するまでには相当な時間を要すると思うので、すぐに実施するにあたり、学校施設や文化会館の利用を考えていただきたい。

民生経済部長 学童保育については、再度アンケート調査を行い、どこから実施していくか決定したい。

松本議員 以前、町営老人ホームの建設を要望したところ、前町長は「時期的にまだ少し早いと思うが、必ずやりたい」と答弁している。そこで今後の振興計画の見直しの中で、老人ホーム等の建設を盛り込んでいただきたい。

助役 振興計画の見直しの時点で十分検討したい。



守谷小学校区を対象に行われている学童保育

民生経済部長 学校施設については、空き教室の問題もあるので教育委員会と協議してみたい。文化会館については、学童保育の場所として適当かどうか、利用状況等を踏まえながら検討してみたい。

文化会館について

中村(信)議員 文化会館は、地域の同和事業を推進していくための隣保館施設であるが、条例で隣保館運営審議会の設置が定められているにもかかわらず、まだ設置されていない。今後、隣保館事業としての意義をはっきりとらえて運営していくために審議会を早期に設置していただきたい。

民生経済部長 一月中には審議会の委員を決定したい。

水道事業について

中村(信)議員 水道事業会計は現在剰余金が生じているが、将来人口推計によ

ると平成一二年では八万一〇〇〇人となっており、それに対応する水源確保と施設整備に莫大な資金を要するため、水道料金の値下げは難しいとのことである。

中村(信)議員 新しく当町に家を建てて移り住んで来られた方々には、固定資産税や都市計画税、さらに住宅ローン等に対して重圧を感じている方が多いと思われる。そこで住宅ローンを抱えた精神的負担に理解を示し、住宅ローンへの町の補助制度を検討していただきたい。

町長 ローンを使った方だけに補助をするのは難しいと思うが、他で実施しているところがあれば調査してみたい。

住宅費補助について

中村(信)議員 新しく当町に家を建てて移り住んで来られた方々には、固定資産税や都市計画税、さらに住宅ローン等に対して重圧を感じている方が多いと思われる。そこで住宅ローンを抱えた精神的負担に理解を示し、住宅ローンへの町の補助制度を検討していただきたい。

町長 ローンを使った方だけに補助をするのは難しいと思うが、他で実施しているところがあれば調査してみたい。

中村(信)議員 新しく当町に家を建てて移り住んで来られた方々には、固定資産税や都市計画税、さらに住宅ローン等に対して重圧を感じている方が多いと思われる。そこで住宅ローンを抱えた精神的負担に理解を示し、住宅ローンへの町の補助制度を検討していただきたい。

町長 現在県が進めている菅生沼の公園の整備、あるいは利根左岸の開発等を一体的に考えたもので進めていきたいと考えている。

大久保(進)議員 農業集落の保全を基本に地域の特性を活かし、機能の増進を図るとあるが、大八洲地区の今後の農業のあり方について、地区住民の中には二世の時代が終わる三世代の時代に移るにつれて専業農家としてやっていくのが難しくなっている不安があり、住居だけでも既存集落の中へと考えている方もあるように思う。

今後のまちづくりについて問う

大久保 進議員

大久保(進)議員 会田新町長の今後のまちづくりについての抱負を伺いたい。

町長 対話と参加を基本におき、住民との対話の中で出された要望等について検討を行い、今後のまちづくりを進めていきたいと考えている。

所信表明について

大久保(進)議員 町長就任にあたっての所信表明について次の点で伺いたい。

町長 上下水道の整備、図書館建設、町民会館の建設等、様々なものについて一つ一つ着実に実行していきたいと考えている。

大久保(進)議員 下水道の整備については、西板戸井地区、同地地区、赤法花地区が下水道整備計画から除かれているが、この三地区の今後の計画について伺いたい。

都市整備部長 今後の整備手法について関係各課で協議を行っており、下水道に代わるものとして、合併浄化槽あるいは農業集落排水事業での整備を検討しているわけであり、今後先進地視察等を行いながら更に検討をしたいと考えている。

大久保(進)議員 商業、近代農業、観光の振興を図るとあるが、所信表明に対する質疑の中で、町長はアサヒビール工場にできる予定のレストランを観光の目玉としてアピールしたいと答えている。しかし、守谷町の歴史的、自然的なものを集めた資料館等の整備を行った方がより効果的だと思うが、町長の考え方を

伺いたい。

町長 現在県が進めている菅生沼の公園の整備、あるいは利根左岸の開発等を一体的に考えたもので進めていきたいと考えている。

大久保(進)議員 農業集落の保全を基本に地域の特性を活かし、機能の増進を図るとあるが、大八洲地区の今後の農業のあり方について、地区住民の中には二世の時代が終わる三世代の時代に移るにつれて専業農家としてやっていくのが難しくなっている不安があり、住居だけでも既存集落の中へと考えている方もあるように思う。

所信表明について問う

中村 力議員

中村(力)議員 町長は所信表明で「町民一人ひとりの対話と参加の行政を基本に」としているが、水道料金の問題については、どのように認識しているか。

町長 町民から水道料金が安いという声が聞かれるが、どのように料金算定されているのか十分理解されていないようである。今後は水道モニター制度のようなものを確立し、水道事業に対する理解を得るべく努力していきたい。

中村(力)議員 町長がめざす「リバーサイドタウンの建設」とはどのようなことか。

町長 守谷町は、利根、鬼怒、小貝の三川に囲まれており、その中を連綿させたサイクリングやジョギング道路を整備し、さらに水辺の公園等も整備していきたい。

中村(力)議員 利根川左岸を貯水池化するという建設省の稲戸井調節池総合開発事業計画に対して、一部

である。その際に町で用地の確保等の協力をしていただけるか伺いたい。

都市整備部長 以前に大八洲地区の方と生活の場と生産の場を分離した形というところで話合った経緯があるが、現在でもあの地区で生産を続けていきたいというところであるため、町としては大八洲地区住民から出されている洪水対策のための堤防建設に関する陳情について建設省と協議を行っているが、非常に困難であるとの見解であるため、非難場所を確保できるようにお願いをしている。

中村(力)議員 利根川左岸を貯水池化するという建設省の稲戸井調節池総合開発事業計画に対して、一部

下水道整備について

中村(力)議員 北園地区はまだ下水道が整備されていないが、隣では守谷東土地地区画整理事業による基盤整備が進められ下水道も整備されることになるので、近接地でありながら地域格差が生じてくる。そこで行政の公平の観点から北園地区の下水道整備も早期に進めていただきたい。

都市整備部長 現在、平成六年度までの下水道整備計画について事業認可を受けている。平成七年度以降の整備計画については、その事業認可を受けるべき作業を五年度から進める予定であり、北園地区もその対象区域として検討したい。

私道の整備について

中村(力)議員 私道を舗装するには、一路線全員の地権者の寄付により所有権が町に移転され、町道として認定されなければ難しいとのことである。しかし私道といえども町道と関連し、生活道路として使用されているものについては、公道の道路としての性格をもつものであり、一部地権者から寄付が得られないとしても、工事承諾書等により舗装を徹底すべきではないか。

都市整備部長 私道を舗装したことにより損害賠償を求められた事例もあり、地域住民の気持は察することであるが、十分注意を払う必要がある。地下方式を望んでいる大柏地区住民の対応についてはどのように考えているか。

駅周辺整備について

中村(力)議員 守谷駅周辺地区整備事業について今後のスケジュールを伺いたい。

常磐新線推進部長 鉄道ルート、駅前区画整理事業の区

大井沢小学校跡地利用について

栗橋 義三議員

栗橋議員 大井沢小学校は、薬師台地区に新設される小学校と統合され、現在、場所から薬師台地区に移るとのことであるが、その跡地の利用としては、地域住民が納得するようなものを考えていただきたい。

町長 跡地利用検討委員会を設置して検討したいと考えており、その構成メンバー等について教育委員会と相談し早期に設置したいと考えている。

教育長 国の補助を受けている関係上、教育関連施設でない補助金を返還しなくてはならないため、今後どのように利用していくべきか研究したいと考えている。

道路整備について

栗橋議員 交通量の増加等により、町内各所の道路の傷みが激しくなっており、補正予算を組んで補修を行った経緯もあるようだが、突発的な補修に対する予算を工面するのは財政的に厳しいと思われるので、他の課で不用額が出た場合に早急に組み替えをして補修の費用にあててはどうか。

財政部長 不用額については、最終的な段階にならないとわからないものであり、簡単に組み替えられるものではないため、総合的な補修費用としての予算編成が必要であると考えている。

守谷東について

栗橋議員 守谷東土地地区画整理事業は、昭和六十三年に着手し、平成六年度完成を目指して事業に取りかかったわけであるが、常磐

平成三年度
決算のあらまし

平成三年度の各会計の決算が認定されました。

決算の審議は、町の仕事計画(予算)どおり行われたか、また町民生活の向上に役立ったかをチェックするとともに、その成果を踏まえて、今後の町政の進め方を考えていくという大切な役割をもっています。

決算の審議にあたっては、議長を除く一九名の議員による決算特別委員会を設置しました。

特別委員会では、各委員が町執行者に対し、効果的な財政運営をめぐって具体的な質疑を行い、慎重な審議を経て本会議に報告され、各会計とも賛成多数で認定されました。

一般会計

歳入総額は一三五億五三三万三〇〇〇円で、前年度と比較して二六・五％伸びています。町税は五二億七五九六〇〇〇円で、歳入総額の三八・四％を占め、前年度より一四・四％も伸びています。これは人口の増加に伴う町民税等の増加によるものです。町税の内訳は、町民税が五四・八％、固定資産税が三四・八％、その大半を占めています。

町債は二五億四〇三〇万円、歳入総額の一八・七％を占めています。これは保健センター建設事業債、常磐新線対策事業債、義務教育施設整備事業債などです。

その他、地方交付税一七億三四四四二〇〇〇円(二・八％)、国庫支出金一〇億二七四〇万五〇〇〇円(七・六％)、繰入金九億五

七七七四〇〇〇円(七・一％)とつづいています。

歳出総額は一二七億三二六五八〇〇〇円で、執行率は九五・七％となっています。歳出の主なもの、教育費が四六億七二四八〇〇〇円で、歳出総額の三六・七％を占め、前年度と比較すると一五・七％も伸びています。これは郷土公民館建設事業、給食センター増築工事、小中学校費における公有財産購入費の増などによるものです。また衛生費においても二億八一八六〇〇〇円と前年度より一六七％も伸びていますが、これは保健センター建設事業によるものです。

その他、土木費一八億九六四七九〇〇〇円(歳出総額に占める割合一四・九％)、諸支出金一二億七五九一五〇〇〇円(一・〇％)、総務費一二億三〇二一七〇〇〇円(九・七％)などです。

翌年度に繰り越すべき財源を加味した実質収支は三億九二〇四七〇〇〇円となっています。

下水道会計

歳入総額一二億六三三八四〇〇〇円、歳出総額が一二億一四二七四〇〇〇円で、歳入歳出差引額四九一万円となっています。

歳入歳出とも前年度と比較して約一〇％減少していますが、これは主に建設事業費の減少によるものです。歳入では、使用料及び手数料が七億六三三三三〇〇〇円、歳入総額の六〇・七％を占め、前年度と比較

自治大臣表彰受賞

元町議会議長 大久保 信 市氏

元守谷町議会議長の長久保信市氏が、昨年一〇月二一日、自治大臣より表彰されました。

この表彰は、大久保氏が昭和二十六年から一八八五年まで、通算一七一年一

月という永きにわたり、町議会議長として公正な議会の運営に尽力され、地方自治の発展向上に大きく貢献されたとして、その功績がたたえられ表彰されたものです。

伝達式は、二月一五日の本会議前に



行われ、議長から表彰状が手渡されました。また、去る一月二三日には、その受賞祝賀会が盛大に行われました。(写真は祝賀会であ

保険給付費は歳出総額の六八％を占め、次いで老人保健拠出金の二七％となっています。

老人保健会計

歳入総額は一一億八二二〇万円で、前年度より一・八％伸びています。支払基金交付金が歳入総額の六四・六％を占め、次いで国庫支出金の一七・九％となっています。

歳出総額は一一億六〇三二四〇〇〇円で、九七・六％の執行率となっています。主なものは医療費で、歳出総額の九五・二％を占めています。

歳入歳出差引額二〇八七六六〇〇〇円が翌年度に繰り越されます。